

2018年度地域学総説（水曜5限・A20講義室）授業計画案

1. 授業の進め方

- ・各講義の時間構成：①フィードバック:5分 ②講義:60分程度 ③コメントシート:20分
- ・コーディネーター:村田周祐 サブ・コーディネーター:稲津秀樹
- ・成績評価:コメントシート $2 \times 13 = 26$ 点、課題1+2: $20 \times 2 = 40$ 点 課題3:40点 合計106点

2. 講義内容（以下、敬称略）

全体テーマ:「私」と「地域学」

第1部 地域学のフィロソフィー

- 4/11 第1回 「地域学の系譜①」藤井正 × 若手（村田、泉、東根）
- 4/18 第2回 「地域学の系譜②」光多長温 × 若手（竹内、大元、白石）
- 4/25 第3回 「地域学の系譜③」家中茂 × 若手（稲津、岡村、佐々木）
- 各講師から30分程度「講義（『地域学入門』の内容）」、その後若手教員からの質問
 - 学生らは『地域学入門』の各講師の論考を必読
- 5/9 第4回 「根のある暮らし—古きが新しきを生む—」松場登美 × 岡村 公開授業
- 5/16 第5回 「地産地消エネルギーから現代文明を問いなおす」新妻弘明 × 泉 公開授業
- 5/23 第6回 第1部総括 若手教員 ※レポート30分

課題1: 第1部の講義を通じて、あなたが感じた／考えた地域学のフィロソフィーについて述べてください。

第2部 生きられる地域学

- 5/30 第7回 「環境保全と営利活動—モズク基金というしくみ」竹内周（「井ゲタ竹内」）×大元 公開授業
- 6/6 第8回 「来る者を拒むほど俺たちは偉くない—私たちのむらづくり—」高橋正雄（七ヶ宿水と歴史の資料館館長）×村田 公開授業
- 6/13 第9回 「私と身近な他者と対話するメディアとしてのアート」蛇谷りえ（ゲストハウスたみ）×竹内 公開授業
- 6/20 第10回 「応援の連鎖がまちを変える—油津商店街再生への挑戦—」木藤亮太（元日南市テナントミックスサポートマネージャー）×小野 公開授業
- 6/27 第11回 「忘れられないひとの忘れられない風景の記録」小森はるか（ドキュメンタリー作家、「息の跡」）×佐々木（稲津）+上映会（芸文センター） 公開授業
- 7/4 第12回 「地域からの知識生産」家中茂（第2部総括） ※レポート30分 公開授業

課題2: 第2部の講義を通じて、あなたが感じた／考えた地域における知識生産について述べてください。

第3部 「私」と「地域学」

- 7/11 第13回 「私と地域学①」卒業生 白岩優姫（網走刑務所教育支援スタッフ）×稲津
- 7/18 第14回 「私と地域学②」卒業生 植田晃次（因原神楽団 団長）×村田(45分講義+15分対談:学生と地域学の架け橋となる議論を行う)
- 7/25 第15回 「私と地域学③」柳原邦光（全体総括）

課題3（後日提出）: 1~3部全ての講義を通じて、あなたが感じた／考えた、あなたにとっての「地域学」とは何かについて述べてください。